

SEINAN REPORT! 教育の現場

Vol.8 西南学院高等学校／後編

西南学院が掲げる一貫した理念に基づいた保育・教育とは？現場で働くスタッフに聞きました。



“ 充実した語学教育カリキュラムを活かして ”
机上の勉強だけで終わらない、実践力を育成。

中高一貫教育のメリットの一つは余裕を持つて一歩先を学べるということ。特に英語は授業数が多く進度も速いので、中学3年から高校の範囲に入ります。高校の英語では、大学受験を見据えて学力を上げることはもちろんですが、私が大切にしているのは、生徒が使える英語を身につけることです。ですから、授業では読解や演習に加え、必ず発音練習を取り入れるなど、生徒の体に自然と英語がなじむような工夫をしています。声に出す機会が増えると英語を話せるという自信にもつながります。また、生徒の日頃の行動から、責任ある自由“という学校の伝統を感じられるのは、卒業生としても嬉しいことです。その意識を支えているのは毎日触れる聖書の言葉ではないでしょうか。日常生活でも、ふと思いつく場面があるはず。社会に貢献できる人となるためにも聖書から学ぶことは多いと思います。今後は大学と近接するという恵まれた環境を生かし、同じ西南学院として留学生との交流など、相互に良い影響を与えられるような取り組みを実現できればと思います。



西南学院高等学校
教諭 井手 孝行さん
1999年 文学部外国語学科
英語専攻卒業
(西南学院高等学校出身)

〈Impacting the World〉

アジアの、そして世界の平和をつくる人の育成を目指して。



西南学院高等学校

- 1916年 南部バプテスト派宣教師C.K.ドージャーが男子中学校(旧制・5年制)「私立西南学院」を創立(福岡市大名町)
- 1918年 西新校地に移転
- 1948年 新学制施行により西南学院高等学校(男子校)開設
- 1994年 男女共学校へ移行
- 1996年 西南学院中学校との一貫教育を実施
- 2003年 現在の百道浜校地に移転し、新校舎の献堂式を行う
- 現在 定員 1,350人、卒業生数 36,811人

SEINAN
GAKUIN UNIVERSITY
<http://www.seinan-gu.ac.jp/>